

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	1010	中学校教材・教員整備事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
担当部課名	教育部 学校教育課		項	03	中学校費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	目	02	教育振興費
			細目	101	教育振興経費
			細々目	02	教材・教員整備費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	中学校児童	整備された教材・教員を用いた教育活動ができます。
本年度事業内容	1. パソコン等をはじめ、生徒用教材・教員の整備 2. 新設の障害児学級の備品整備	
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
	人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)	事業費(B)	69,001	65,268	65,268
	委託料	2,297	4,552	4,552
	使用料及び賃借料	38,158	35,688	35,688
	備品購入費	19,499	18,511	18,511
	その他	9,047	6,517	6,517
合計(A+B)		71,161	67,428	67,428
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	510	675	675
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	70,651	66,753	66,753	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
パソコン教室の整備校数	校	3	2	3			

情勢の変化及び事業の改善点等

情報教育において活用する各学校のパソコンについては、システムの更新が必要であることから、12の中学校を順に整備しているところです。各校40台のパソコンのシステム保守については、今後も順次継続していく必要があります。また、3年に一度の教科書改訂が実施された平成18年度においては、教師用指導書等を購入する必要がありますが、同学年においては共有するなど、必要最低限の購入にとどめるよう配慮します。

評価	達成度	3	各学校にパソコン教室の設備の充実については、高額になるため、一斉に整備することはできませんので、今後も順次着手していきたいと思っております。しかし、ITを活用した教育活動が重視される現代においては、学校教育における情報機器の充実是不可欠ですので、継続して整備していく必要があります。
	効率性	4	